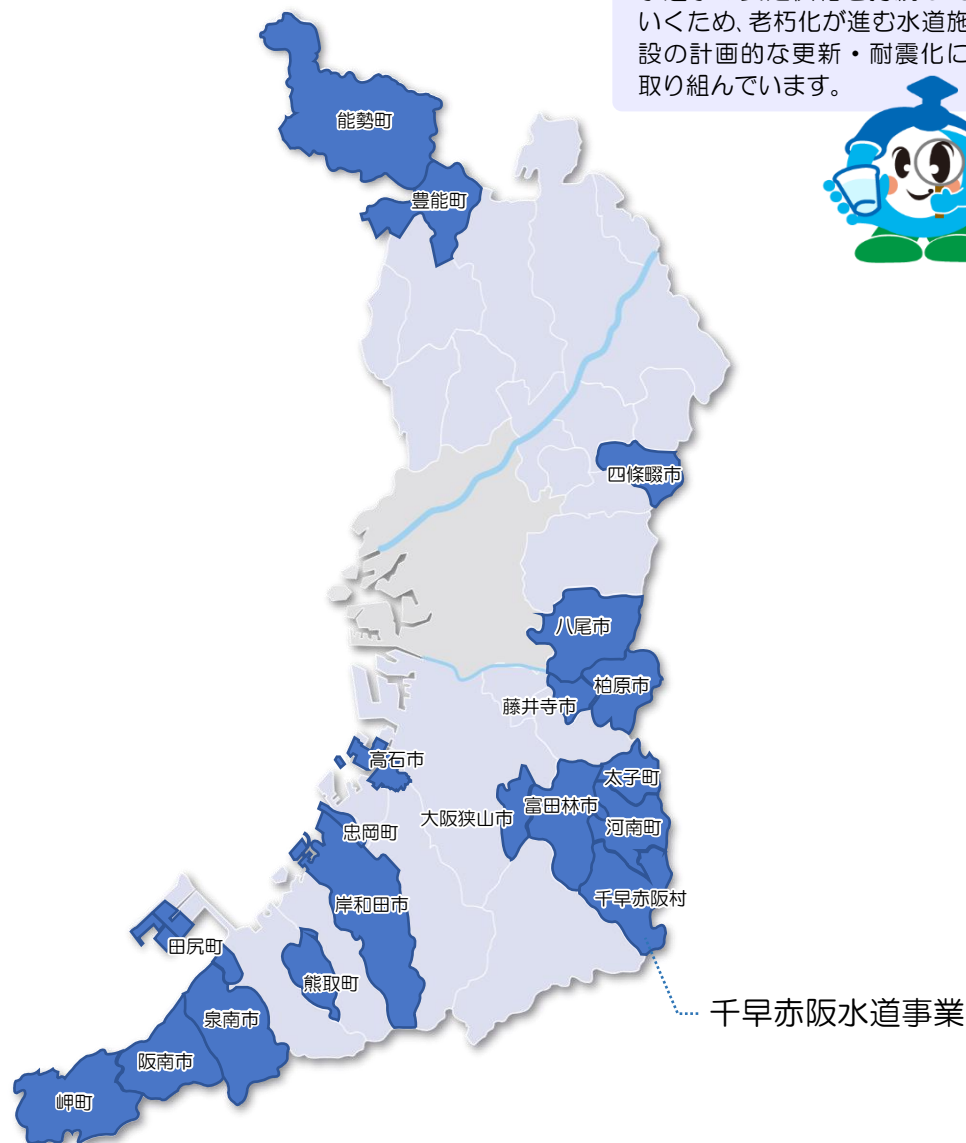


2025年度の主な取組

■ 市町村域水道事業(18水道事業)



水道水の安定供給を持続していくため、老朽化が進む水道施設の計画的な更新・耐震化に取り組んでいます。



重要施設配水管路の目標設定について教えて！

2024年1月に発生した能登半島地震で上下水道施設に甚大な被害が生じ、復旧が長期化したことを踏まえ、国土交通省から全国の水道事業者や下水道管理者に対し、重要施設※に接続する上下水道管路等の耐震化を推進するための「上下水道耐震化計画」を2025年1月までに策定するよう要請がありました。

この計画策定に当たり、企業団と統合元団体で協議を行い、対象施設となる重要施設の見直し(地域防災計画とも整合)を行うなど、これらに接続する重要施設配水管路の耐震管率の目標値(2029年度)を設定しました(これにより一部の水道事業で従来の目標値から変更が生じています。)

本アニュアルレポートにおいては、昨年度に引き続き、「上下水道耐震化計画」の目標値に対し実績の推移を報告します。



※ 災害時においても給水の重要性が高い医療機関、避難場所、福祉施設、防災拠点等の施設。
なお、「上下水道耐震化計画」に合わせて「重要給水施設管路」を「重要施設配水管路」に変更しています。

企業団と水道事業を統合した市町村

- 2017年4月から企業団が水道事業を開始
四條畷市・太子町・千早赤阪村
- 2019年4月から企業団が水道事業を開始
泉南市・阪南市・豊能町※・忠岡町・田尻町・岬町
- 2021年4月から企業団が水道事業を開始
藤井寺市・大阪狭山市・熊取町・河南町
- 2024年4月から企業団が水道事業を開始
能勢町※
- 2025年4月から企業団が水道事業を開始
岸和田市・八尾市・富田林市・柏原市・高石市



企業団が直接、各ご家庭に水道水をお届けしています

13水道事業 (14市町村の水道事業)

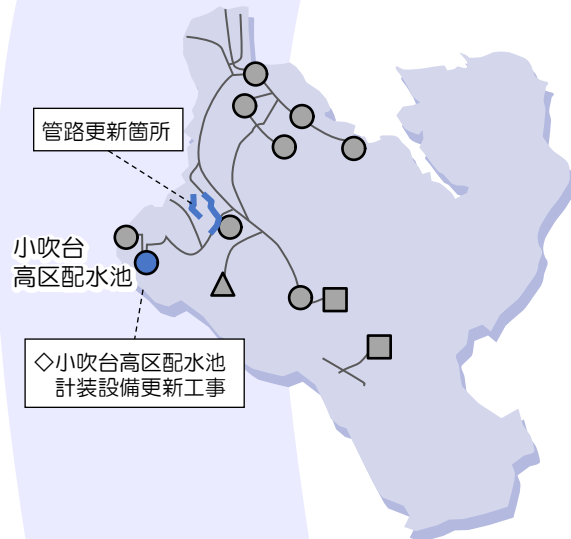
※ 豊能町域と能勢町域の水道事業は、2024年4月に統合し、豊能地域水道事業として運営を開始

18水道事業 (19市町村の水道事業)

5水道事業 (5市の水道事業)

2025年度の主な取組

■ 千早赤阪水道事業



		基準年度実績 (2021年度)	2024年度 実績	2025年度 実績	目 標 (2029年度)
管路の耐震管率	基幹管路	7%	7%	7%	41%
	重要施設 配水管路※ (耐震適合率)	—	8% (8%)	8% (8%)	8% (8%)

※ 更新基準年数を経過していないため、計画期間中の更新を見込んでいません。

2025年度の執行額は2.5億円で、主な事業は次のとおりです。



送・配水のネットワークの強化

■ 送水管及びポンプ場設計整備事業(河南連絡管・富田林市ほか)

受水場及び送水管の新設により水道用水供給事業からの受水を2系統化することによって、受水場間の村内連絡管の整備を実施しています。

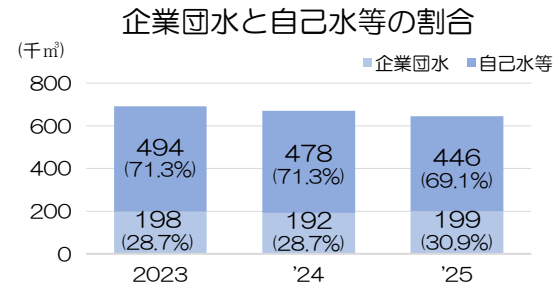
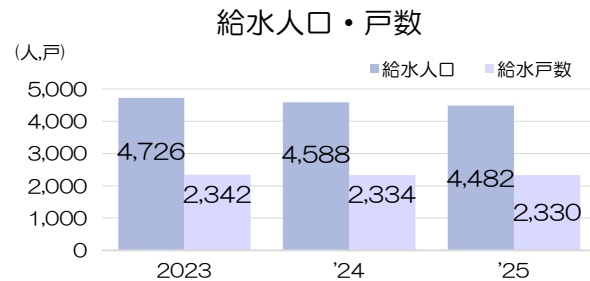
2025年度
執行額 165百万円

その他の取組

- 更新時期を迎えた管路(吉年地区)の更新・耐震化を実施しました。

■ 千早赤阪水道事業

給水人口や給水量の推移



2025年度末の給水人口は4,482人で、前年度と比べて106人(2.3%)減少しています。

また、給水戸数は2,330戸で4戸(0.2%)減少しています。

給水量は645千 m³で、前年度から25千 m³(3.7%)減少となっています。

財政収支

(単位：百万円、税抜)

収益的収支	2024決算(a)	'25決算(b)	差引(b)-(a)
収 益	191	161	△ 30
給水収益	119	124	5
長期前受金戻入	22	22	△ 0
その他収入	50	15	△ 35
特別利益	0	0	△ 0
費 用	180	205	25
維持管理費	114	139	25
減価償却費等	60	59	△ 1
支払利息	5	6	1
特別損失	0	0	△ 0
単年度損益	12	△ 43	△ 55

(単位：百万円、税込)

資本的収支	2024決算(a)	'25決算(b)	差引(b)-(a)
収 入	187	227	39
企業債	77	103	26
国庫補助金等	52	37	△ 15
その他収入	58	87	28
支 出	247	310	63
建設改良費	208	273	66
企業債償還金	39	37	△ 2
その他支出	—	—	—
収支の差額	△ 60	△ 84	△ 24

* 収支の差額については、積立金等で補てん

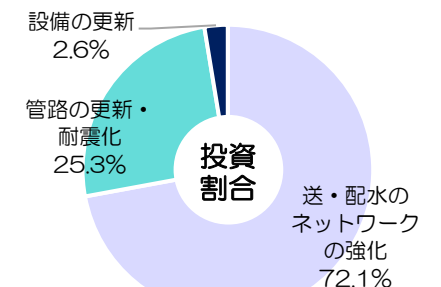
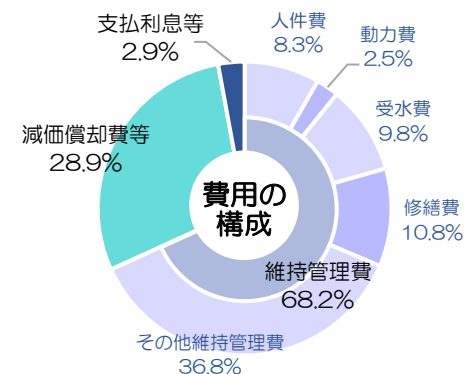


収益は、前年度に実施した水道料金の減免終了により給水収益が増加した一方、村からの繰入金の資本的収入での受入額が増加した結果、収益的収入(その他収入)での受入額が減少したことなどにより、前年度と比べると30百万円減少しました。

費用は、委託料や修繕費の増加などで維持管理費が増加したことなどにより、前年度と比べると25百万円増加しました。

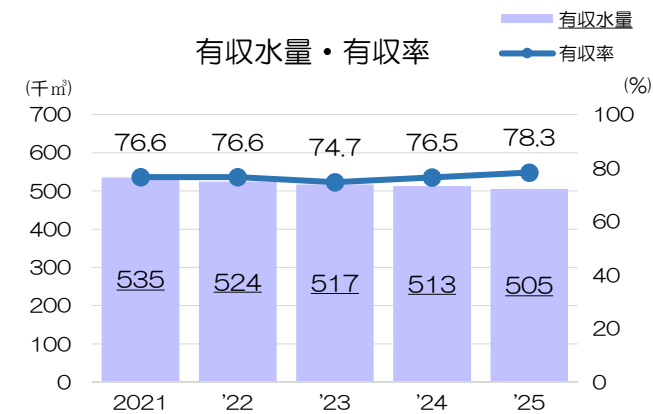
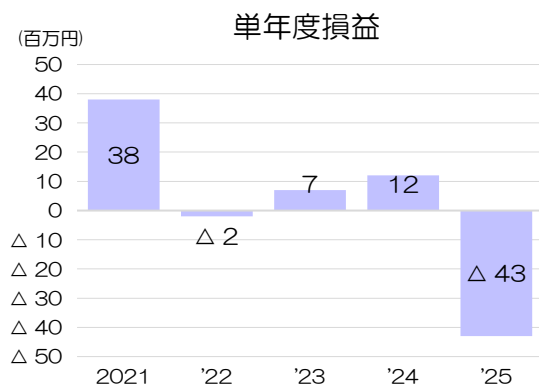
これらの結果、単年度損益は前年度に比べ55百万円減少し、43百万円の単年度損失となりました。

なお、2027年4月からの料金改定に向けて検討しています。



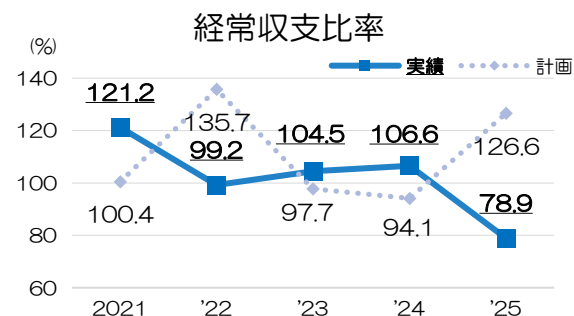
※ 投資割合は建設改良費の内訳のことです。

財政収支の推移



主な経営指標の状況

○：計画を達成 △：計画を概ね達成(計画値との乖離が5%未満) ×：計画を未達成



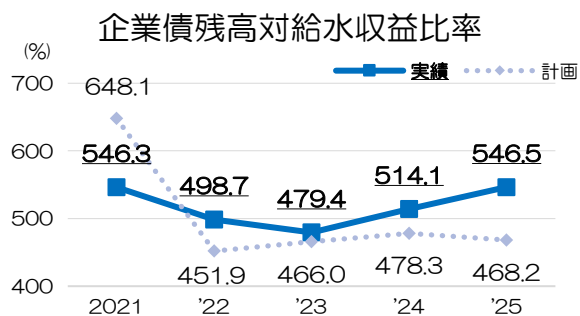
達成状況	2021	'22	'23	'24	'25
	○	×	○	○	×

〈算出式〉 経常収益／経常費用×100

給水収益や繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表し、100%以上となっている必要があります。

計画と比べ、その他収入が減少し、維持管理費が増加したことから、2025年度の実績は、計画を達成できませんでした。前年度と比べても、その他収入が減少し、維持管理費が増加したことから、27.7ポイント減少しています。

【参考:2024年度類似団体平均値105.8%】



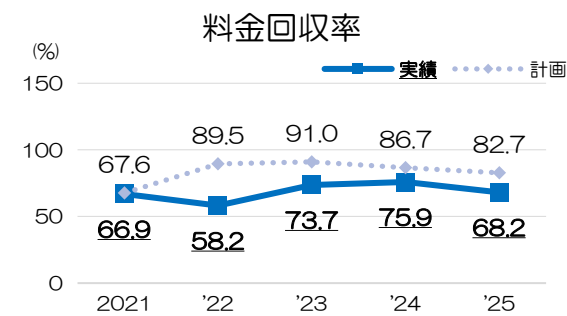
達成状況	2021	'22	'23	'24	'25
	○	×	△	×	×

〈算出式〉 企業債現在高合計／給水収益×100

給水収益に対する企業債の割合であり、企業債残高の規模を表します。明確な数値基準はなく、経年比較や類似団体比較等により適正な数値となっているかをみる指標です。

計画と比べ、給水収益は微増したものの、企業債残高が増加したことから、2025年度の実績は、計画を達成できませんでした。前年度と比べても、企業債残高が増加したことから、32.4ポイント増加しています。

【参考:2024年度類似団体平均値602.8%】



達成状況	2021	'22	'23	'24	'25
	△	×	×	×	×

〈算出式〉 供給単価／給水原価×100

(供給単価＝給水収益／有収水量)

給水に係る費用が、どの程度給水収益で賄えているかを表します。

計画と比べ、給水収益は微増したものの、維持管理費の増加が上回ったことから、2025年度の実績は、計画を達成できませんでした。前年度と比べても、維持管理費が増加したことから、7.7ポイント減少しています。

【参考:2024年度類似団体平均値77.5%】